



勇者が姫を買った理由II

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

This book is DragonQuestXI fanbook
presented by Garyuh_Chitai
2018 Winter

For ADULT ONLY





勇者^{カレ}が娼姫^{ワタシ}を買った理由^{ワケ}Ⅱ



- D 04 前回のあらすじ
- D 05 「勇者（カレ）が娼姫（ワタシ）を買った理由（ワケ）Ⅱ」
- D 50 あとがき・奥付

前回からのあらすじ



誇り高き格闘家である
デルカターの王女
マルティナは

世界崩壊後、単身
魔王軍のブギーに
戦いを挑み敗北

メスブタ娼婦調教の
末、自らブギーの
肉便器妻に堕ちた



勇者たちに救出
された後も
覚醒した変態性癖は
抑えることが出来ず

夜な夜な街へ
出かけては売春
セックスに溺れる
日々――

メスブタ娼婦調教の
末、自らブギーの
肉便器妻に堕ちた



そんな彼女を勇者は
娼婦王女として
愛することを告げる

その目的は
ユグノア王国の
復興

マルティナは
娼婦としての
求婚を受け入れた



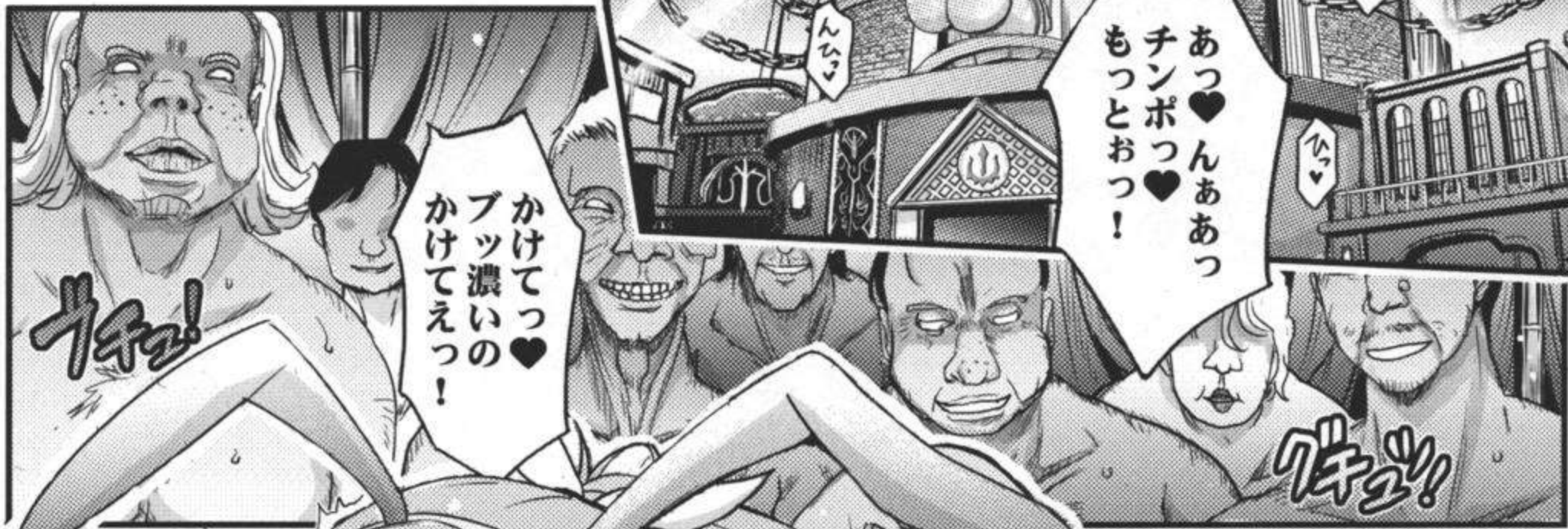
ブギーにされた様々な
変態調教の告白を
勇者は毎日聞き

それ以上の変態行為で
マルティナを世界一の
淫売娼婦に調教する
ことを誓った

時の番人の言葉により
突如終わりを迎えるの
だった

いつまでも続くと
思われたそんな
幸せな日々は

そしてついに
一行は魔王ウルノーガを
倒し世界は救われた
平和な世界と肉欲に
満ちた娼婦生活――



あつ♥んああつ
チンポ♥
もつとおつ!

かけてっ♥
ブツ濃いの
かけてえっ!

チンポ!

チンポ!



ゆ…勇者様あ♥売春
王女に孕ませキンタマ汁
くらさいっ!

マルティイナの変態
便所マンコ
イカせてええっ♥

チンポ!

チンポ!

チンポ!



あああ チンポ
いっばい…♥
コレ…全部わたひ
のものおつ♥

チンポ♥
もっ♥

チンポ♥

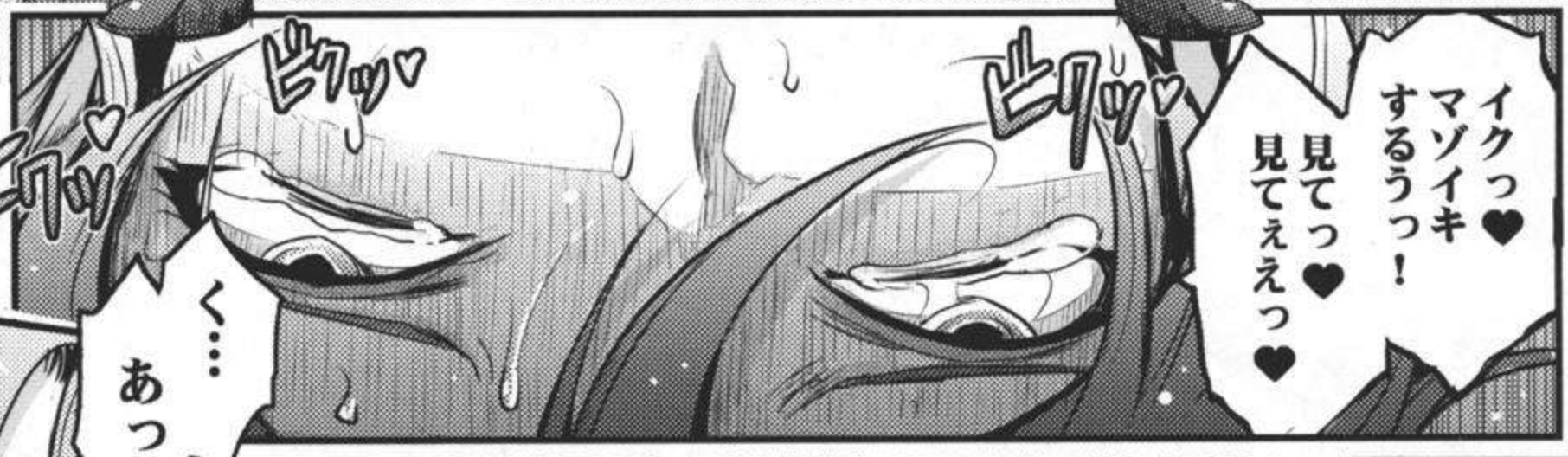
もちろん

『最後』までチンポ
漬けにする約束
だからね



んおおっ♡
イクツ イクツ♡
輪姦してっ♡
誰でもいいから
孕ませてえっ!
んほっ♡

んおおっ♡
コレっ この格好…
好きっ♡ 大好きいっ♡
おほっ♡



イクツ♡
マゾイキ
するうっ!
見てっ♡
見てええっ♡



く…
あッ



あッ♡
あぁあッ♡

あぁあッ♡
あぁあッ♡
あぁあッ♡

イクツ!
イクツ!



ああん…♡
せーえき…
あつたかあい…♡

あは…嬉しい…♡
ケツ毛まで
べつとべとお…♡

完全に娼婦として
墮とされた私

あつとこの幸福が
続くと思っていた

あ♡
あ♡
あ♡



綺麗だよ
マルティナ

あ…あん…♡
ふつとおい…♡

ふ…

しかし——私たちは別れを決めた



惜別のセックス
3日間売春乱交も
今夜が最後

今度はクソ穴の
音を聞かせて

あ♡
オほ♡

ガクッ
ガクッ

あ♡
あ♡
あ♡

ははいっ♡
わたしのケツ
まんこの音…っ

このどスケベな
ケツ穴の音っ
絶対忘れないで…っ♡

明朝 勇者は
『過去』へ旅立つ



ベロニカを
——救える？

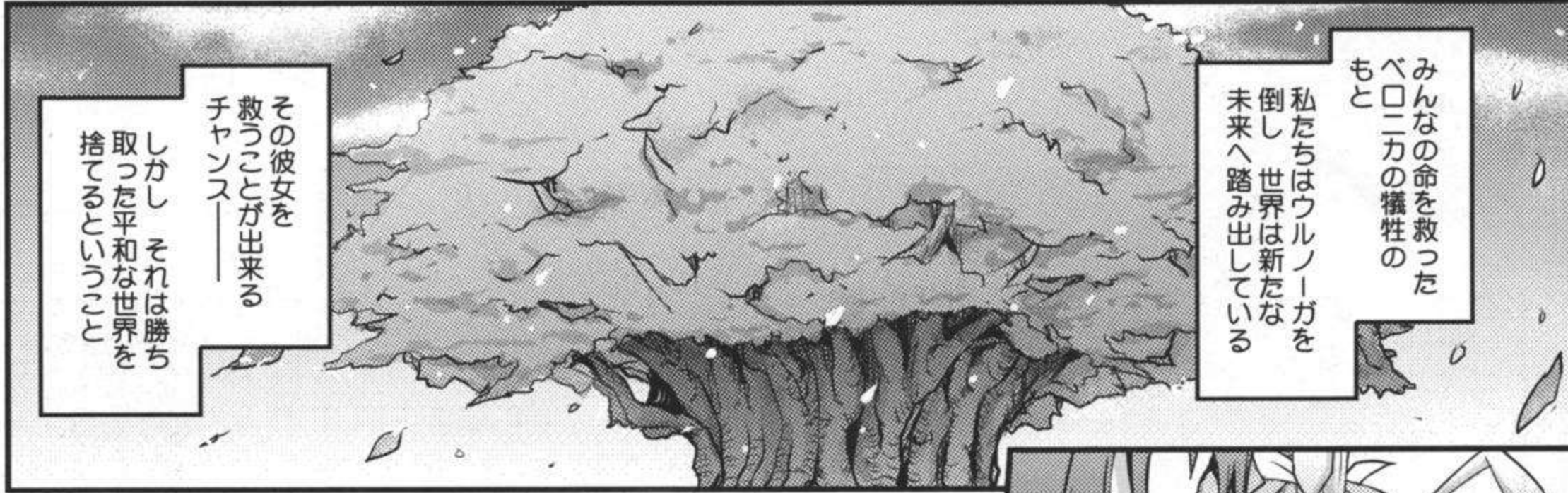
ウルノーガ
討伐後

とこしえの神殿に
辿り着いた私たちは
期せずして大きな
選択を迫られた



ええ その代わり
この時代のあなた方は
いなくなります

過去が変わる
わけですから——



みんなの命を救った
ベロニカの犠牲の
もと

私たちはウルノーガを
倒し 世界は新たな
未来へ踏み出している

その彼女を
救うことが出来る
チャンス——

しかし それは勝ち
取った平和な世界を
捨てるということ



それに
失うのは平和な
世界だけではない



ユクノアの再興を
誓いあった私たちの
関係も——



ほいほい♪

私のことは大丈夫♥
あなたは自分の気持ちに
素直になればいいわ

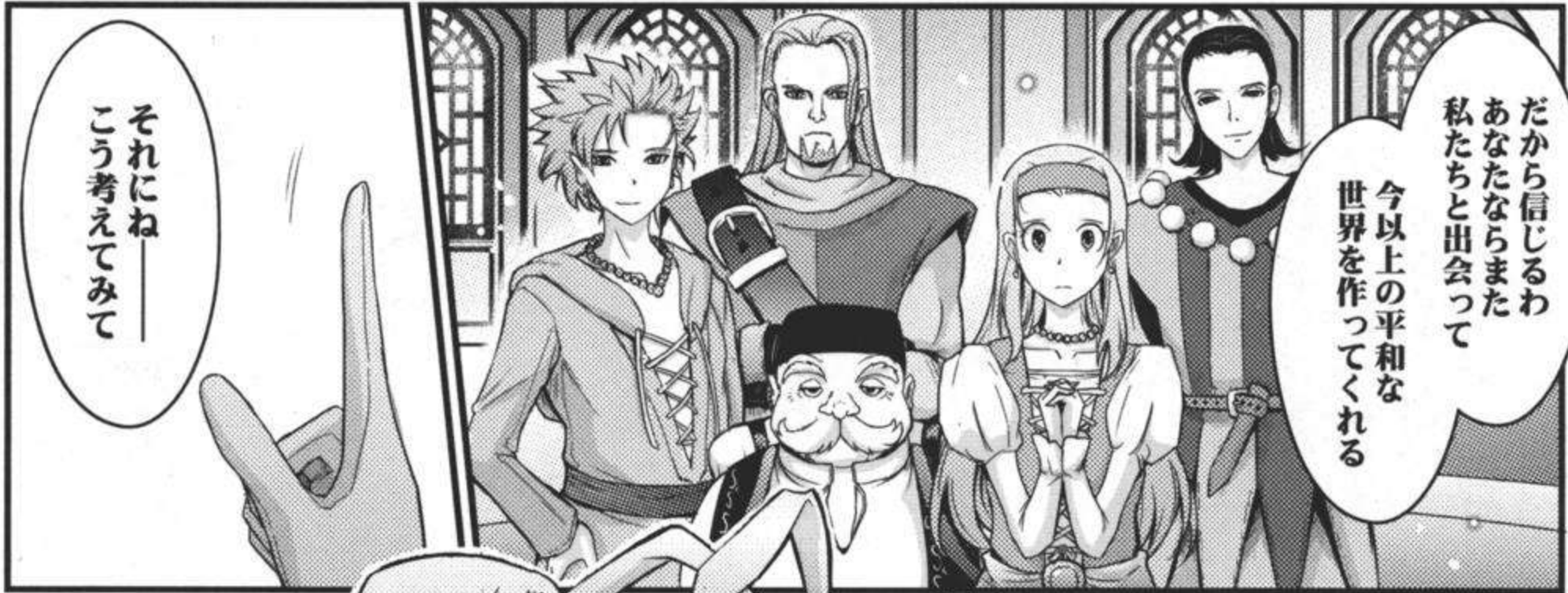
ベロニカを
助けたいのでしょうか？



ふっ

命を懸けてくれた
仲間だもの

全員が同じ
気持ちよ



それにね—
こう考えてみて

だから信じるわ
あなたならまた
私たちと出会って
今以上の平和な
世界を作ってくれる

つまり私もまだ
変態娼婦の本性が
覚醒していないのよ



ペロニカがいる時代には
ブギーはまだいない



そう
だから今度は—



……

あなたに『一から』
私をマゾブタ肉便器に
墮として欲しいの♡

ああ…あつたかあい♡
おしっこ…かけて♡
飲ませてえ…♡

こうして
別れの朝まで
私たちは互いを
確かめ合った

ねえ 約束よ
『むこうの私』も
便所女に調教してね

あなたのチンポ
なしの人生なんて
絶対イヤなもの
そうじゃないと
私——

あなたを手放したこと
後悔するから

それだけは
絶対に——

あーいたいた
どー行つてたのよー!



またもー!

もー いったつも
フラフラして

勇者のくせに
目を離したらすぐ
コレなんだから!

は
は



セーニヤじゃないん
だから もっとしつかり
しなさいよ!

ひどいです
お姉さま!
私だって
成長してます!

今でも一人で
寝れないくせに?

えっ? いやそれは
お姉さまと一緒に
いいから...決して
一人寝が怖いわけでは...

わちゃ
わちゃ

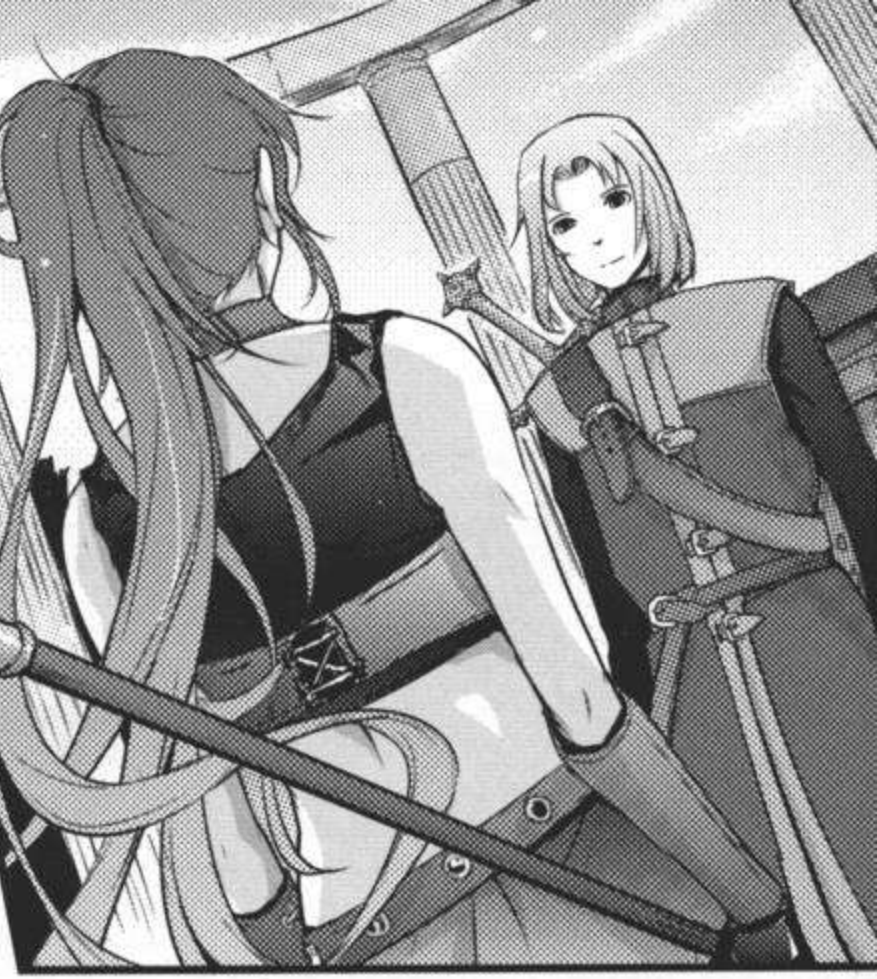
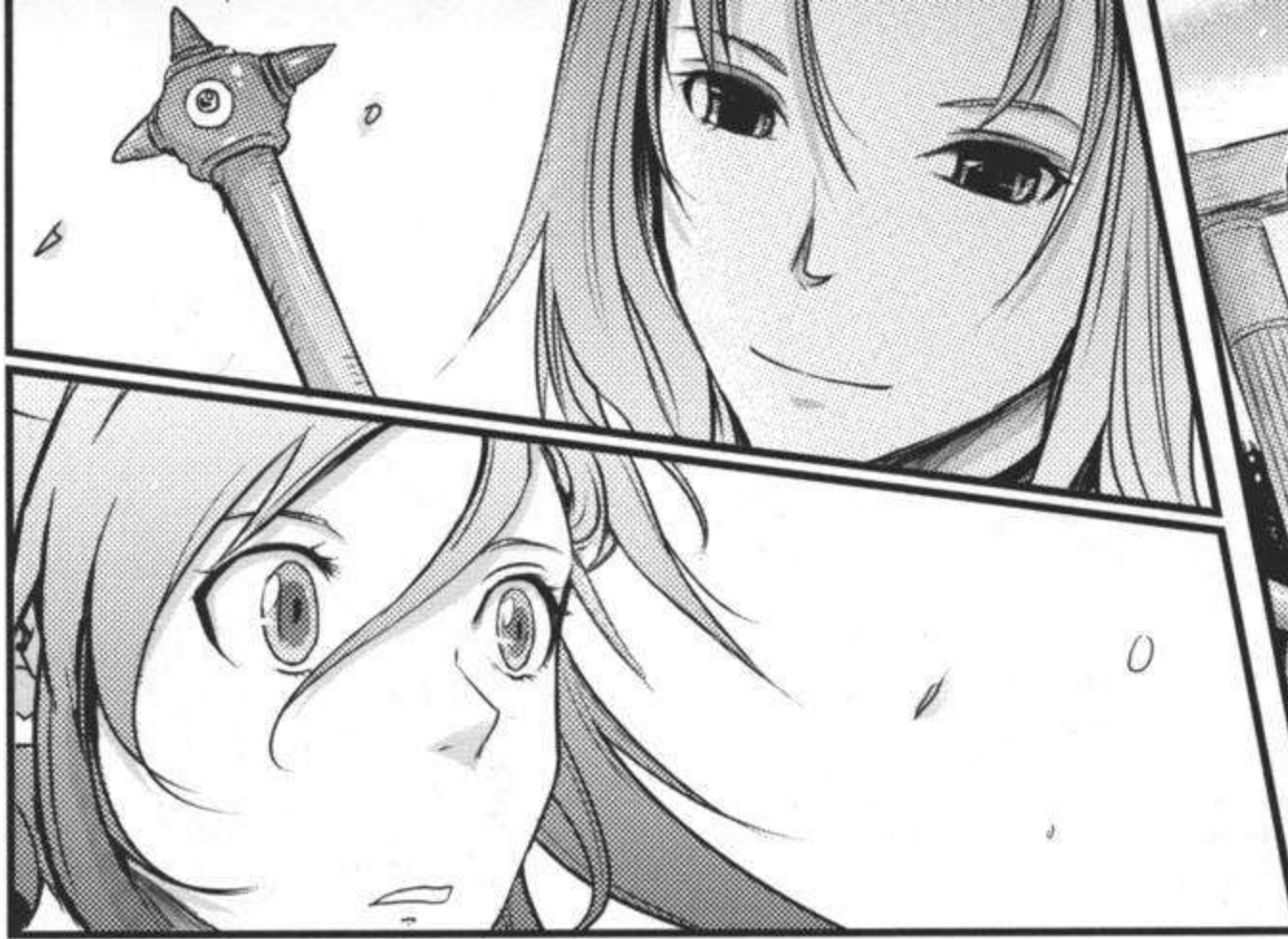
わちゃ
わちゃ



なあに
相変わらずセーニヤを
からかっているの?

でもまあ勇者も
ベロニカの言う通り
もう少し

しつかり



確かに
そうですね

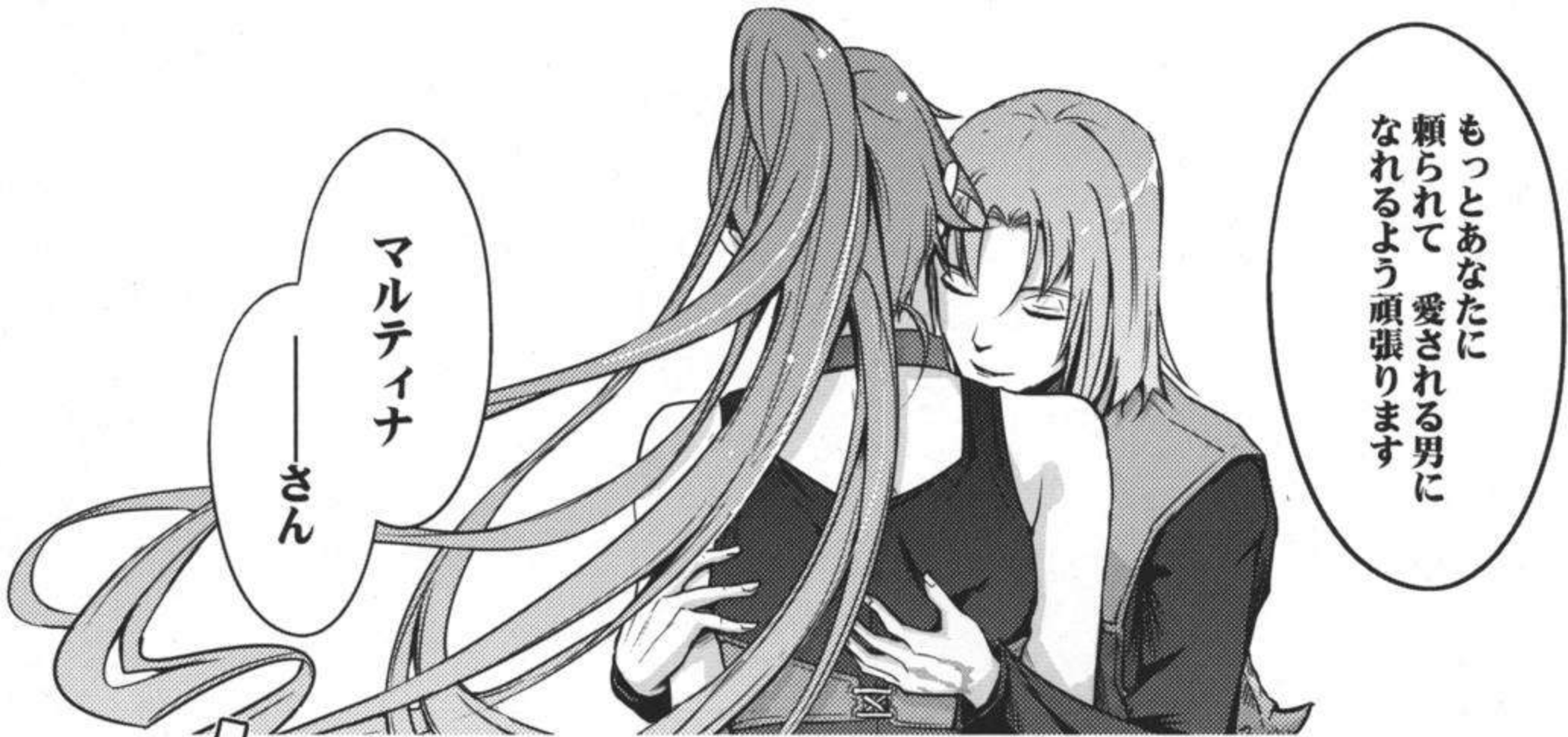


ザリッ

一瞬…何かが…

なに…今の
…？





もつとあなたに
頼られて 愛される男に
なれるよう頑張ります

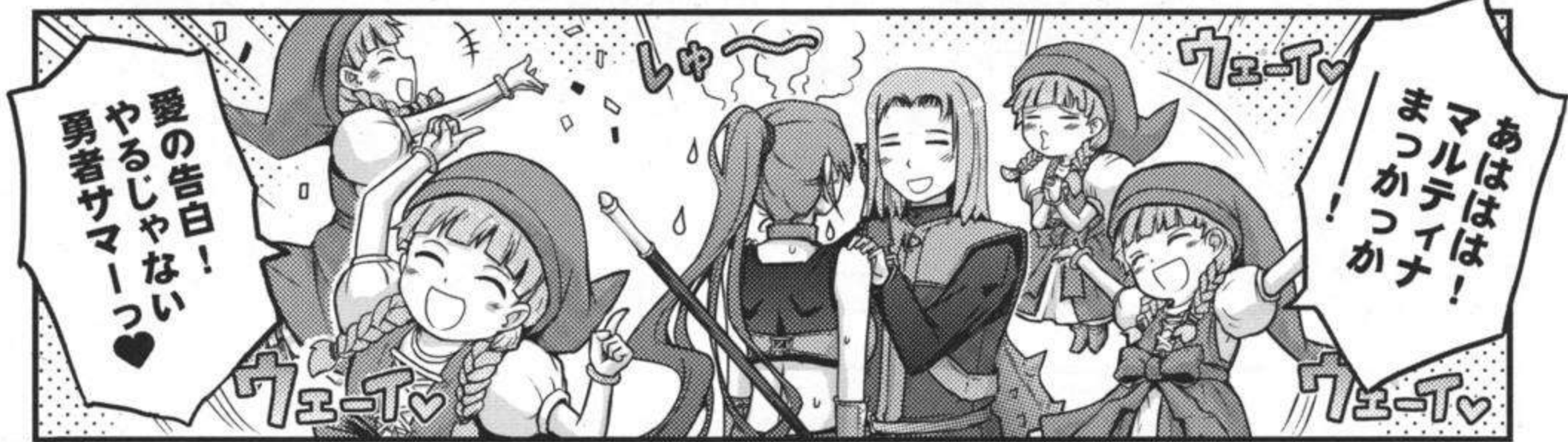
マルティナ
さん



あ...え...?

え...?

あ...あ...



あはははは!
マルティナ!
まっかっか!

愛の告白!
やるじゃない♡
勇者サマー!



よろしく
お願いします
僕は本気ですから

...は

...は



は...?



ラムダを発つて
20日

彼の変化は 気の
せいではなかった



ピピッ

ピピッ...



闘いの中でみせる
たのもしさ
明らかに以前と違う
身体・技・戦略...

それに敵に対する
冷徹さ

仲間からも『運命の子』
ではなく立派な戦士として
信頼を増していった



は...ああ...
ん...っ ♡

アッ ♡

ぬちゅ...

私の中の『女』が
揺さぶられる



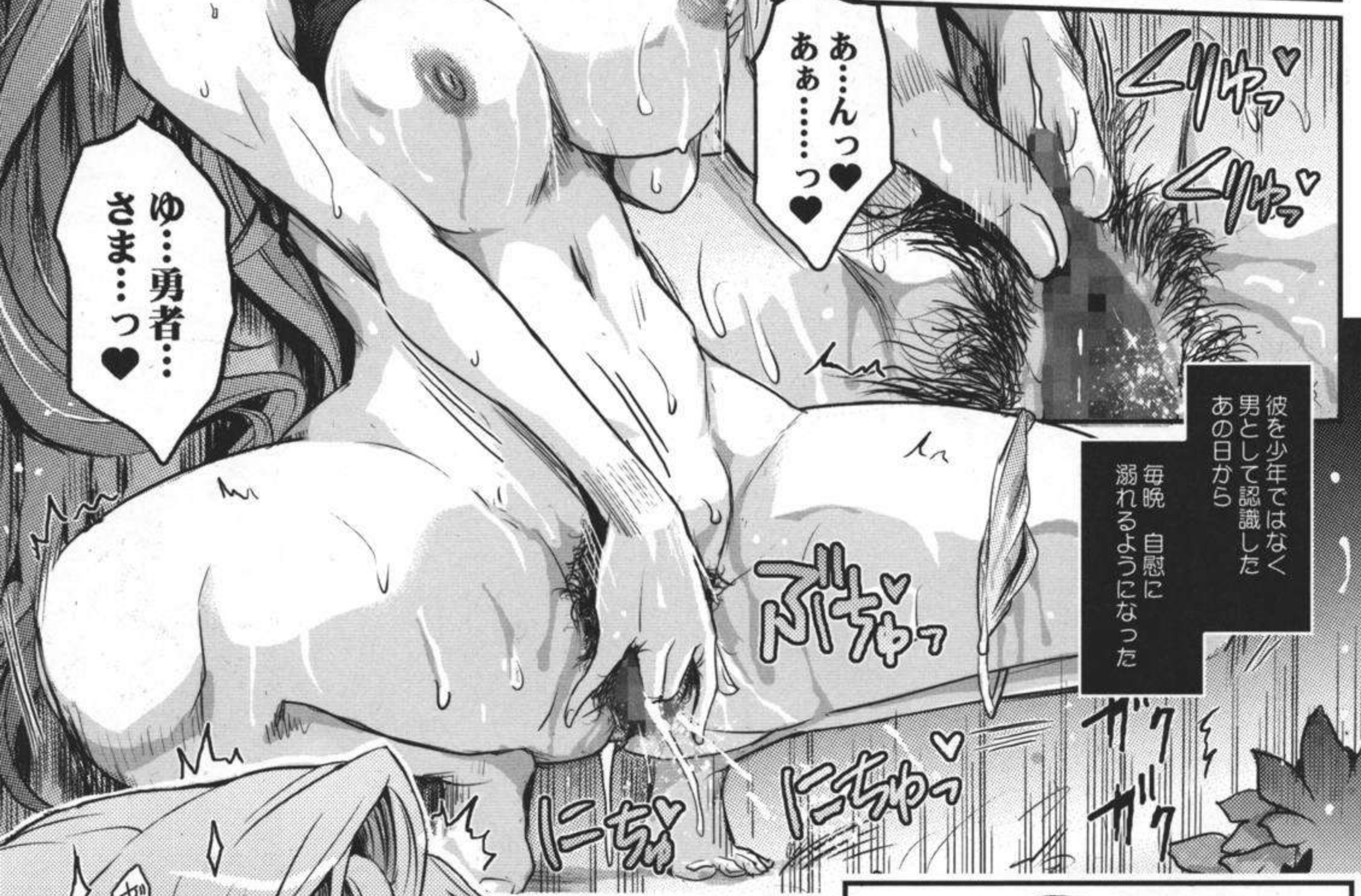
その一方...私は
戦闘中でも彼に
見つめられたり

「マルチイナ」と
呼び捨てにされて
指示をされるたび

心がきめいて
しまっていた



はあ…
ああ…っ♡



あ…んっ♡
あ…っ♡

ゆ…勇者…
さま…っ♡

彼を少年ではなく
男として認識した
あの日から
毎晩 自慰に
溺れるようになった



あ…あ…きて…♡
おまんこ…犯して…♡
私をメチャクチャ
にして…っ!



今はあんなのじゃ
満足できない

私は—
犯されたいの!

妄想するのは彼と初めて
抱き合ったあの優しい
セックスなんかじゃない

抵抗する私を強姦して欲しい

いやあつ ダメよつ やめなさい…やめて…やめて！ 許してえつ！

デルカタール王女
そして格闘家として
守り続けた誇りを
無慈悲な力で
ねじ伏せられたい…

あああ こんなおまんこ
ことされてるのに…
イヤ…なの…あああ！

イクっ♡イクっ
イクうううっ！

んあ♡
んあ♡

チンポ…
チンポをください…
マンコ犯して…♡
ここでレイプ
して…っ♡

早く…早く…
今日こそは…
チンポが欲しい…

そっじゃないと
きつと他の女たちが
寄ってきて 彼の
チンポが奪われてしまう

それほどまでに
今の彼は男として
いやオスとして…

メスの下腹部を
熱くさせる…

この被虐妄想は
五日前までは
ただの願望だった

今はメスの誘惑…
オスに仕込まれた
マゾ求愛のサイン

ハハハ

は

は

とちゅ♡
とちゅ♡

とちゅ♡
とちゅ♡



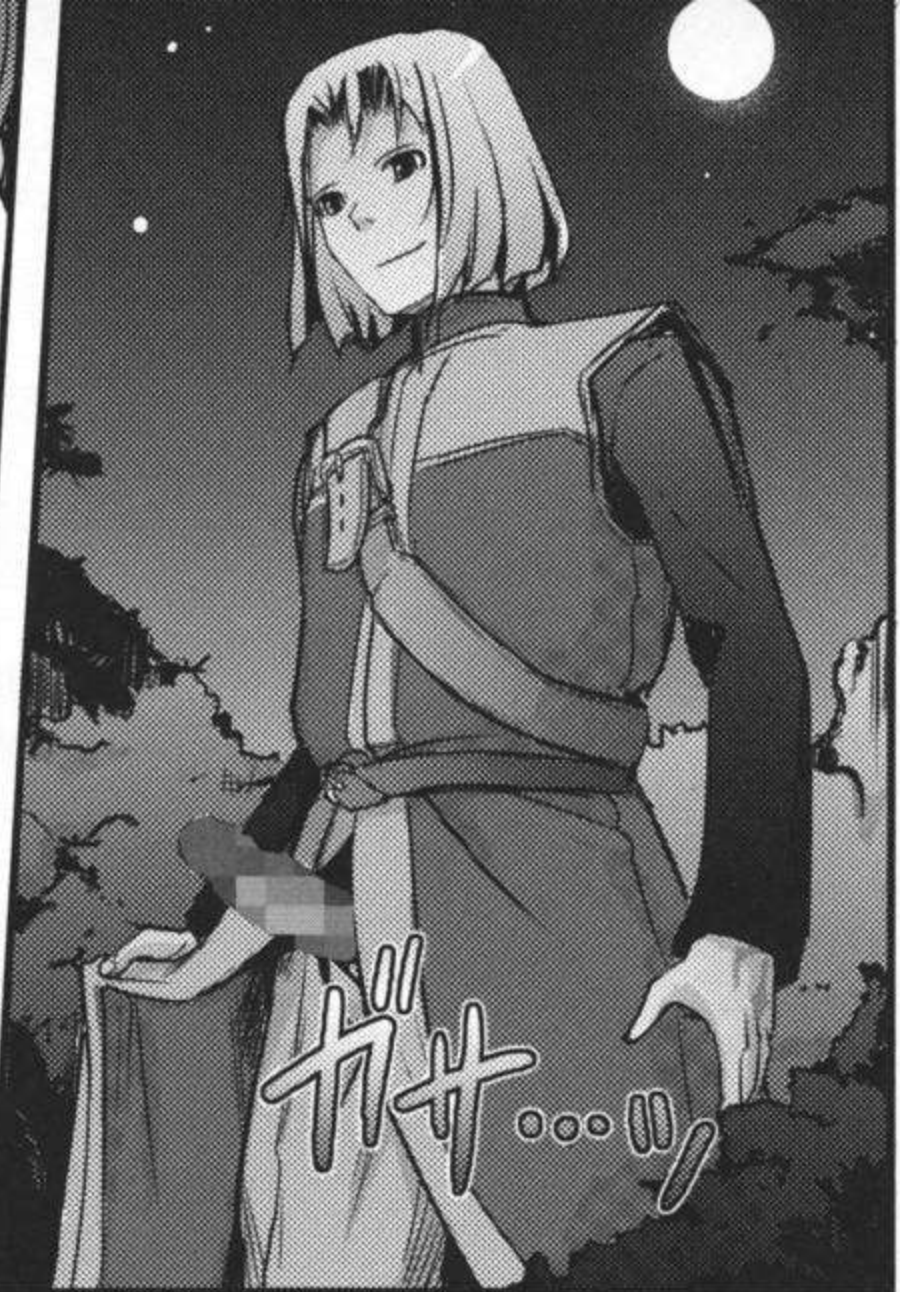


はあ...ああ...



今日も...我慢
できなかつたの...
お願い...見て...
ください...♡

ぬは♡♡♡



ガサ...♡



続けて

卑屈なまでの
懇願

こんな惨めな私を
彼は唾うことなく
真つすく見つめる

は...はい...♡

ピクン...♡
ピクン...♡

プライドが崩れる
快感...
ああ...たまらない...



自慰を促す
彼の一言

それは七日前の夜に
オナニーしている
ところを見られた
時と同じ

あの日も私は
彼の名前を呼びながら
レイプ妄想にふけって
いた

そこに現れた本人に
私は絶句して...
頭が真っ白だった

続けて
マルティナ

そう言っ
て彼は静かに
私の胸を犯した

優しく甘い凌辱に
抗えず 私は彼に
従った

ああ…ああ
…ダメよ…
だめ…ああ…

彼は「続けて」と
繰り返しながら
甘く凌辱し
私の口からは
卑猥な言葉が溢れ
出していく

続けて

続けて

ち…んぼ…
やめて…

ちん…ぼ…
ああ…いやあ

チンポ…
ああ…チンポお…
んあ…ああ…

いつしか彼の
言葉は私の口から
あふれ出ていた

つ…
続けて…

あつ…ああ
チンポつ…
チンポチンポおつ

んああつ…続けてつ…
やめないでつ!

あああつ…イク…
私…も…おマンコ
イクううつ!



あの日以来
私は彼を誘い
チンポをおねだり
する

でも精液を飲まされる
だけで一度もおまんこ
を犯してもらえない

んちゅ♡



んく♡
あむ…んう…♡
ああ…素敵…
チンカスチンポお…♡

んぼっ♡

んぶ♡んぶ♡



んぶ♡

んぶ♡



昔と違うのでしょうか？
たくさんの女を
墮としてきましたから

他の女…？

いっ…どんな
誰と…どんな
ことしたの？



ズルいわ 私は
□まんこオナニーしか
させてもらえないのに

悔しい…悔しい
その女たちが憎い！
嫉妬が抑え切れない！

んちゅ♡！
んぶ♡

他の女なんかタメ
このチンポは私だけの
モノなんだからっ！

んちゅ♡！
んぶ♡





ひどい...ひどい...
こんな乱暴なこと...

ト...ト...

ト...ト...

げぼえ♡

おぐっ♡
ぐおおっ...

最低最悪の性欲
処理でメスイキを
教え込むなんて

ひどい...ひどい...♡

おげっ♡

こんなヒドイ犯し方
どこで覚えたの？
きつと最低な女たちに
教えられたのね

おホ♡

おホ♡

んほっ♡

んおおっ♡

おええええっ♡

オえ♡

オホ♡

ダメ...ダメよ
あなたは勇者なのよ？

こんな変態ブレイ
私以外の女にしちゃ
ダメなんだから...♡

おホ♡

喉がふさがれて吐瀉物と精液でもうグチャグチャ

ああ…ダメ…もう身体がイキつばなし

苦しくて気持ちよくてマンコが子宮が…内臓が暴れてる…

それなのに…苦しいのに…やめられないっ♡

頭が勝手に動いちゃうっ♡

んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡おほおほっ♡

ああ…イヤ…お腹が…動いてる…ダメよ…それだけは…っ♡

お腹が…内臓が…ああ…グルグルってダメ…で…出る…っ♡

いいよ出して僕もイクから全部見せて

あ愛する人の前で私…ああ…わたし…

おほっ！

んおほっ♡

おっ♡



全部見られた

それなのに…
彼は…

なんて酷い男なの
女として最悪の姿を
晒したあとに

今までで一番強く
抱いてくれる

自己嫌悪どころか
全てを肯定すること
しか許さないなんて

ん…っ

パシッ…

どんな魔物よりも
恐ろしい人

は…あ
…っ♡

ぬちっ

ああ…っ♡

ぬちっ

ぬちっ

は…あ…♡

でも 私は
そんな彼に犯される
ことを望んでいる

するよ…
マルティナ

以前よりもずっと
ずっと強くなる

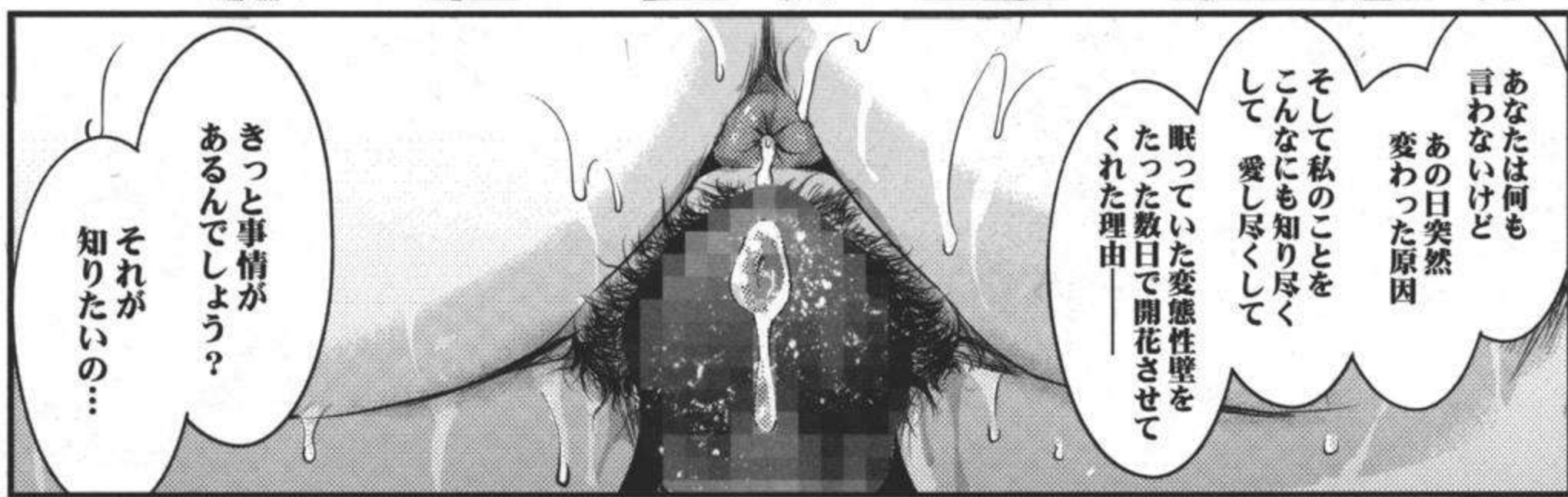
…
待って

トクン…



一つお願いがあるの

終わったなら…
何があったのか
教えて



あなたは何も
言わないけど

あの日突然
変わった原因

そして私のことを
こんなにも知り尽く
して 愛し尽くして

眠っていた変態性壁を
たった数日で開花させて
くれた理由――

きつと事情が
あるんでしょう？

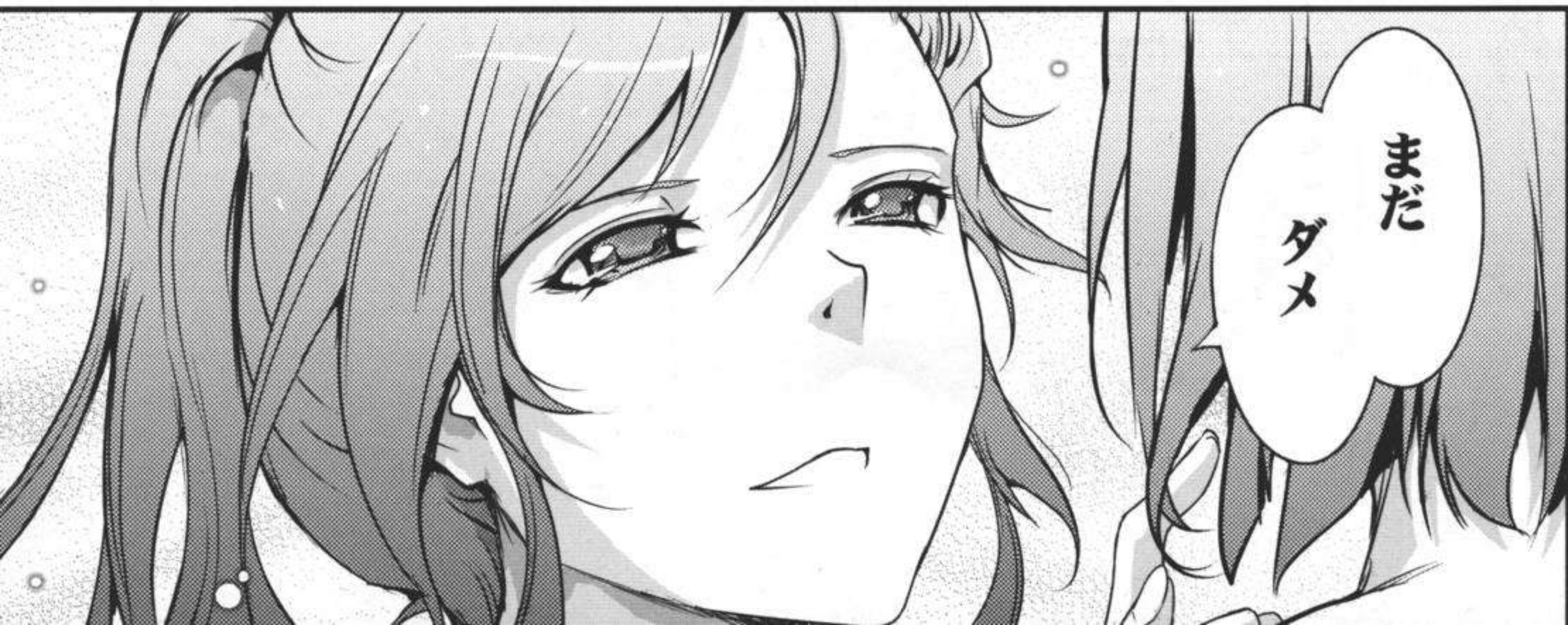
それが
知りたいの…



もちろん
お話しします

いつ話そうか
迷っていたんですが…
ずっと不安にさせて
申し訳ありません

実は僕は
この世界――



まだ

ダメ

今だけは
何も知らないで
いたい

きつと話を
聞いたら納得
してしまう

きて…♡

トクン…

トクン…

はは

今夜だけは
理解も同情も安心も
いらぬ

『知らない男』に
犯されたい

トクン…

は♡

は♡

フム
フム

ぬちゅ…

怖いあなたに
凌辱されたい

ふぢゅぢゅ…

あつ…ああ
コレ…♡

あなたの中にある
闇に征服されたい

アッぢゅ

ああチンポ…♡
きた…きたあ…♡

んく…♡

ふぢゅぢゅ!

待ちわびた
敗北

ああ そうよ 私は
オスのチンポに屈服
したいの♡

あつ!

ひびく♡

ちんぽ
ちんぽ♡

あひつ♡ ああああつ!
あああ♡

ふぢゅぢゅ!

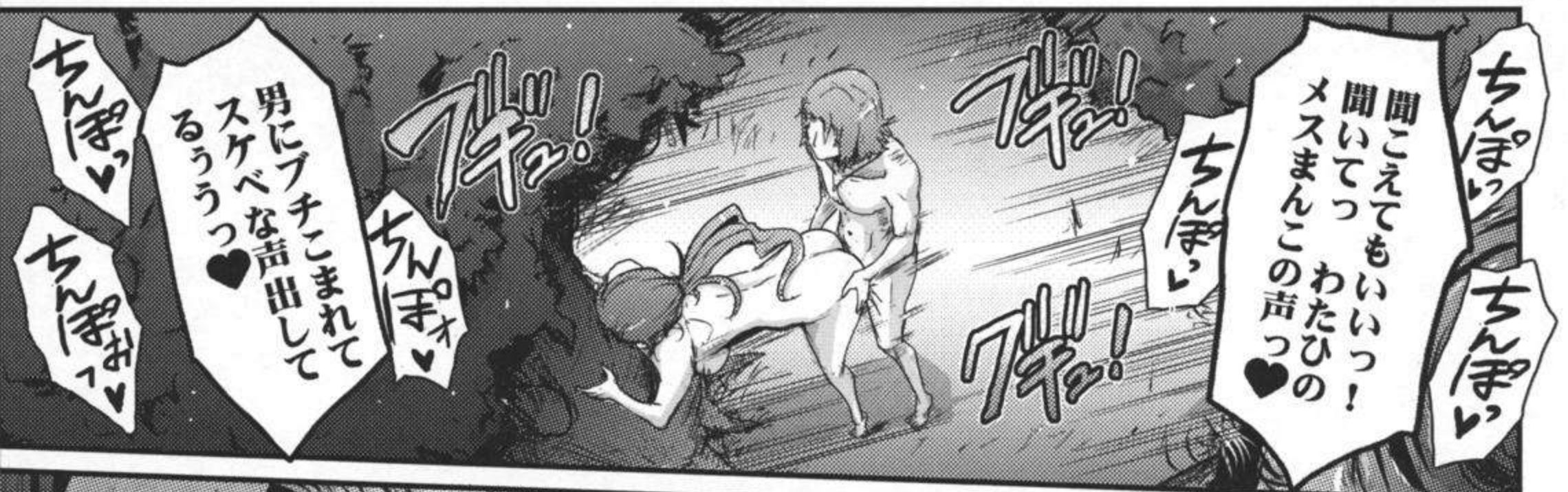


そんな大きな声
キヤンプのみんなに
聞こえるよ?

ひあつ♡あひいつ♡
無理…声…出ちやうつ!

そんなチンポで
マンコえぐられたら
誰でも声でちやうわよっ♡

チンポ…チンポっ♡
チンポきもちいいっ!



聞こえてもいいっ!
聞いてっ わたひの
メスマンこの声っ♡

ちんぽっ♡
ちんぽっ♡

男にブチこまれて
スケベな声出して
るううっ♡

ちんぽっ♡
ちんぽっ♡



あ—っ♡
あ—っ♡

もうオナニー
なんかしないっ♡

生チンポが
一番いいのっ!

もうチンポじゃ
ないとダメえええっ♡



じゃあ誰の
チンポでもいい?

いやよ…っ♡わたしは
あなたの…あなたの
チンポ奴隷なのよっ♡

僕が命じたら
マンコを売る?
お金次第で
知らない男に
屈服してくれる?

あああ…王女の私が
売春婦に…♡
そんな そんな…♡
そんなああ…っ!

フリッ!
フリッ!
フリッ!



み…惨めすぎるっ♥
お金で売るなんてタダで
するよりも惨めよっ♥
でも…考えた
だけで…イクううっ♥

なる…なりますうっ♥
私…命令されれば
知らない男でも…誰に
でもマンコ売りますっ♥

ありがとう
マルティナ



あつ…あああ…♥
お礼を言うのは…私よっ♥
私…きつと…きつと…
こうなりたかったのっ!

あつ ありがとうっ♥
しほこきまわりのっ♥

グッ! グッ! グッ!

格闘家として強く
なるにつれ

無意識のうちに惨敗と
凌辱を待ち望んでたの

みんな…き
聞こえてるっ？

わ…わたくし…
デルカダール王女
マルティナはっ

メス便器娼婦に
なりましたっ♡

王女というプライド
崇高な使命
敗北が許されない
闘いの日々

そんなの壊れない
ほうがおかしい
わよね

誰とでもしますっ♡
なんでもしますっ♡

だからお金…
お金くださあい♡

グキッ!
グキッ!
グキッ!

ガク
ガク
ガク

ビュッ
ビュッ

ビュッ

誇りを
奪われるんじゃない
壊されるんじゃない

お金で
売る

なんていう自由
全身が解放感に
歓喜している

もう…娼婦としての
人生しか考え
られない…っ♡

アッ!
アッ!
アッ!

はっはっはっ!

はっはっはっ!

あああっ♡
売春エロマンコ
イク…イクっ♡

んああっ♡
あああああっ♡



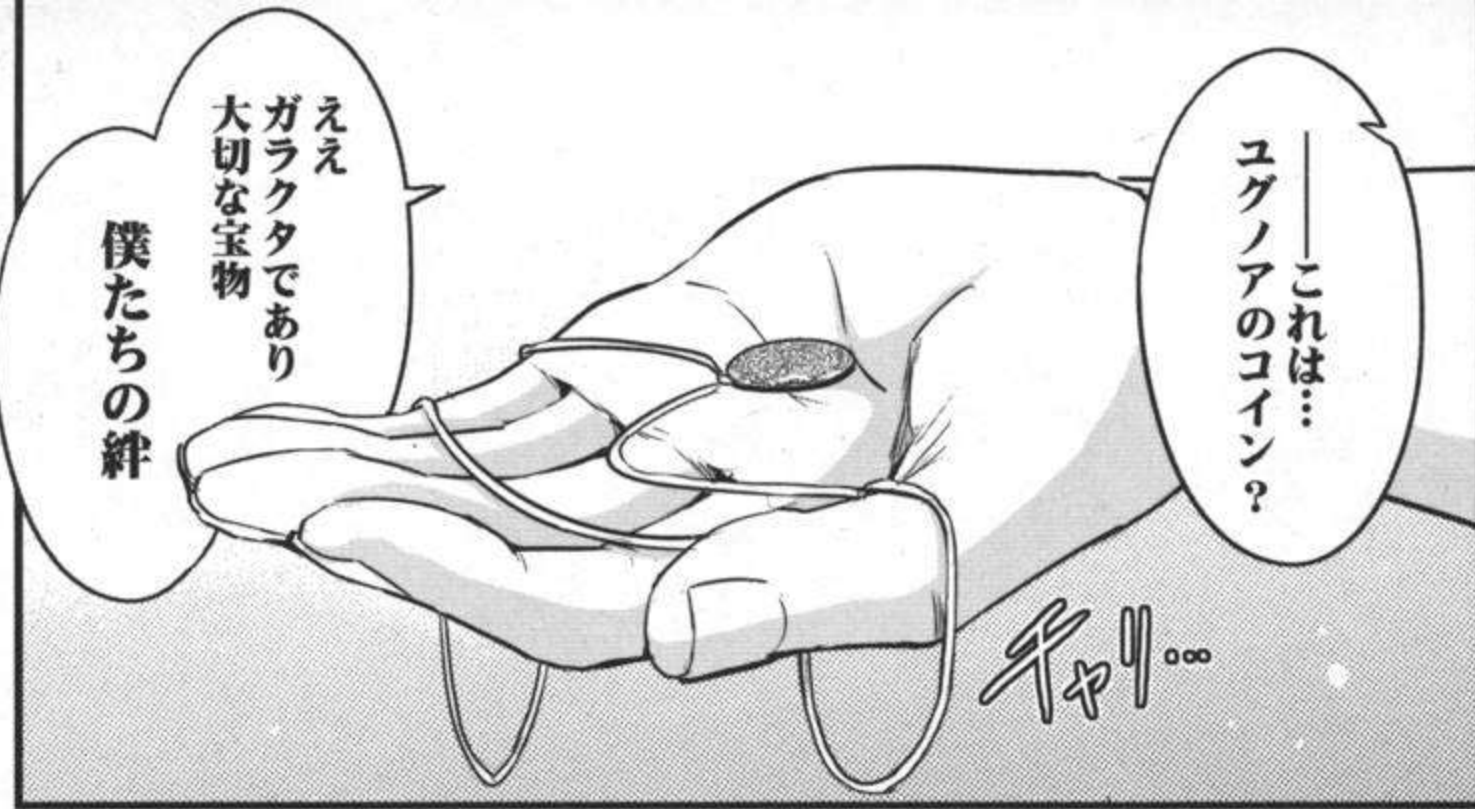
あひ…イひっ♡
勇者さまのせーえき
しゅこ…い…っ♡



イクの…と…
とまらない…っ♡

ひどい…ひどいわ…♡
誰ともハメる
娼婦言ひさせたくせ
私のマンコは全部
自分のモノだと完全
屈服させてくる

やっぴこ…
悪魔よ…♡

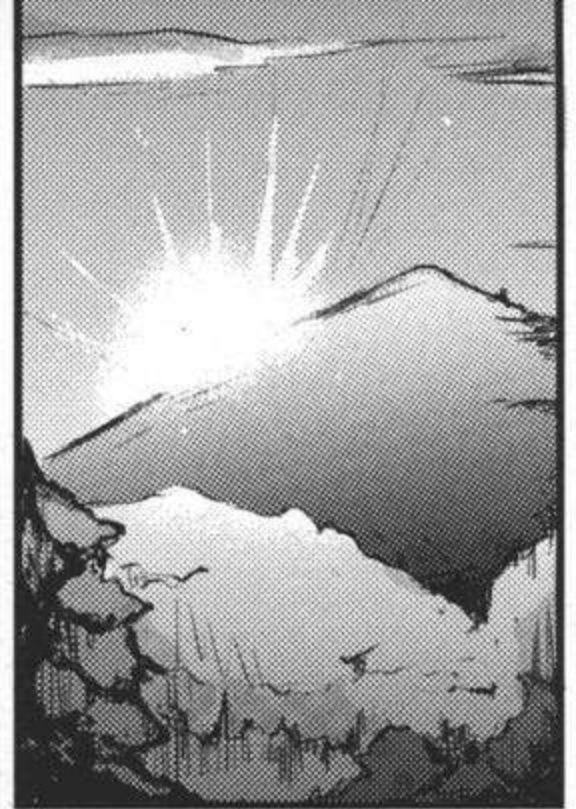


これは…
ユクノアのコイン？

ええ
ガラクタであり
大切な宝物

僕たちの絆

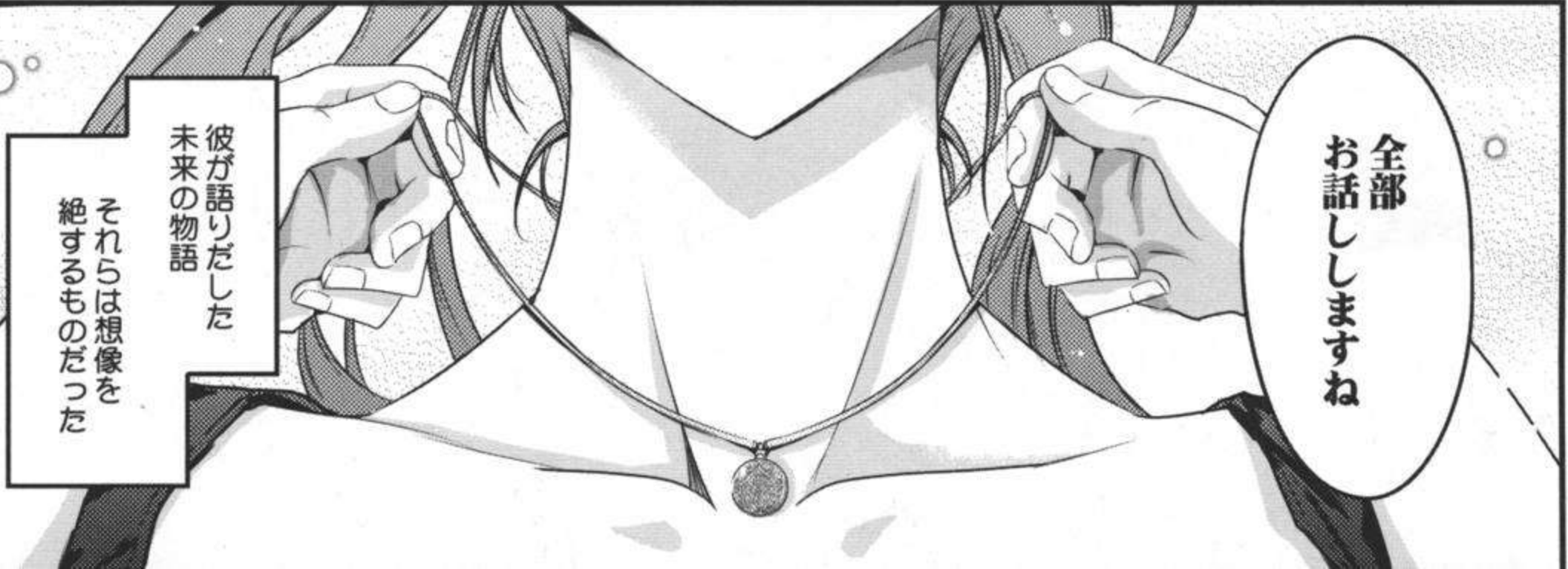
チャリ…



そして未来のあなたから
託されたプレゼント

っま
婚姫の証です

え…っ



全部
お話しますね

彼が語りだした
未来の物語

それらは想像を
絶するものだった

世界の崩壊
ベロ二力の犠牲
そして私の敗北

み…皆様 私の子宮は
ブギー様のチンポ袋に
なりましたあ…♡

あひ

いくら淫乱な私でも
まさか本当に魔物の奴隷
娼婦として墮とされ

さらには妻になる
ことを懇願して
いたとは—

マルティナは一生
ブギー様のマンコ妻
として尽くすことを
誓いますっ♡

んんん♡
んんん♡

そして
ブギーから救出後の
勇者様による
さらなる変態調教

さっきの変態レイプが
見戯にも及ばない程度
ものだというのに
さすがにシヨックを受けた

ああ…もう世界なんか
どうでもいいの♡
チンポ チンポ…
チンポお…っ♡

はひ♡

ビッ♡

ビッ♡

ビッ♡!

ビッ♡!

それなのに 未来の
私は自分の幸せを捨て
過去へ勇者さまを送り
出した

未来の自分だとはいえ
信じられない決断—
今の私なら死ぬほど
後悔するだろう

そんな彼女の想いを無駄に
しないためにも そして
彼女に負けないためにも

私は立派な娼婦に
ならなければ—

それから来たたる
売春婦デビューに向けて
勇者さまによる調教の
日々

あんっ♥あひっ♥
ぶってっ!
もってぶってえっ♥
クソ穴にチンポハメて
家畜みたいにケツ肉
叩かれるの好きいっ♥

ちんっ!

ちんっ!
ちんっ!

ちんっ!
ちんっ!

適性なのか
覚悟のせいなのか
激しい凌辱は
幸福しかなかった

イツあぶっ
イツッ



はあ...はあ...♥
勇者さまあ...かけて
...早く...早くう...っ♥
昨日の夜からずっと
おしっこ欲しくて
眠れなかったんだから...♥

アビッ
アビッ



アビッ
アビッ

アビッ
アビッ

お願いしますっ!
貧民でも兵士でも貴族でも
...お父様でもいいわっ♥
淫毛マゾ娼婦に
キンタマザーメン
ブツかけてえっ♥

ああ...夢だったの
デルカダールの街の真ん中で
マンコ露出したかったのっ♥
ねえ...勇者様
いいでしょ? 名前
言ってもいいでしょ?

国民の皆さま...私...
王女マルティナですっ♥
メス堕ちして帰って
きましたっ♥

ちんっ!

ちんっ!

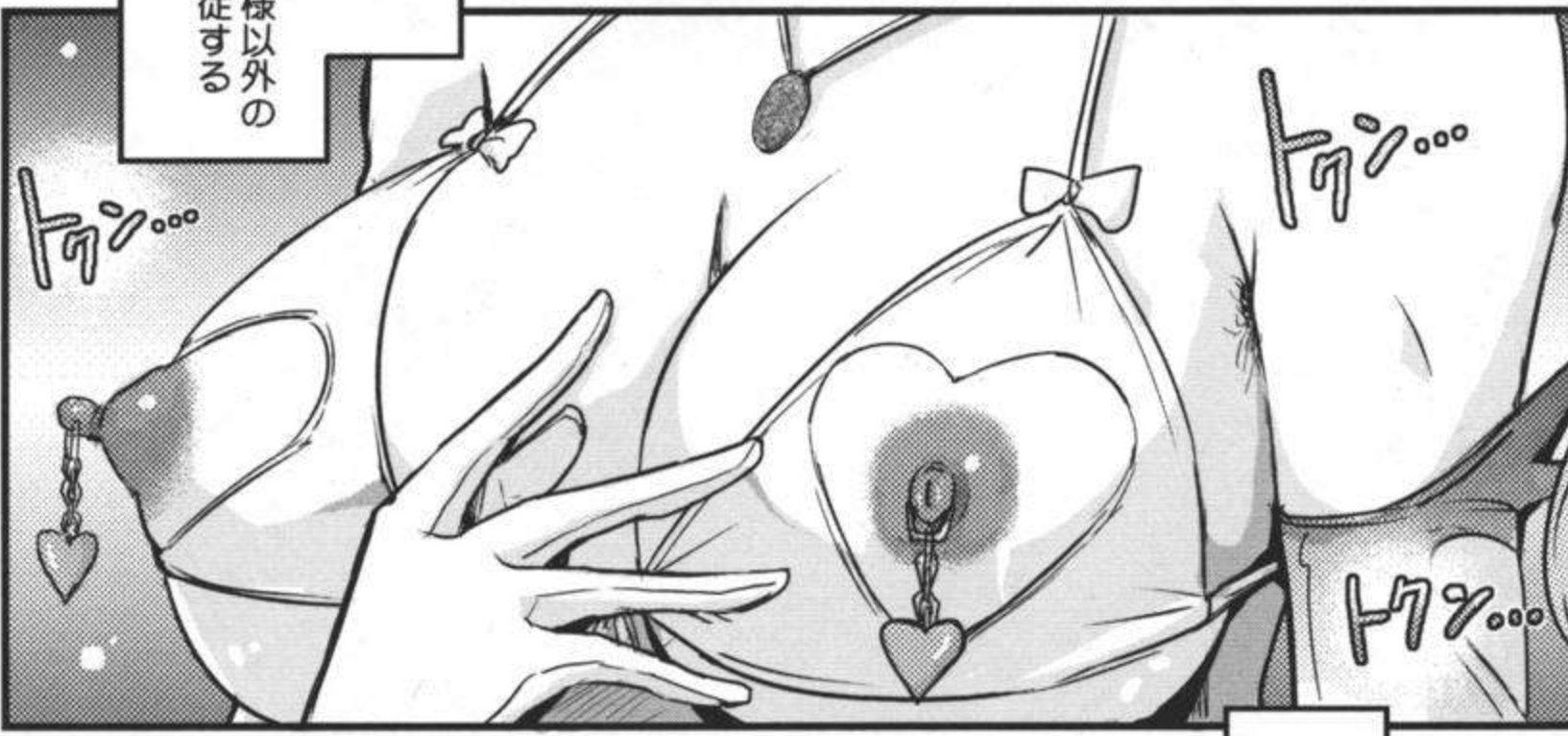
ちんっ!

欲望の街
グロッタ

今日初めて
ようやく私は
娼婦デビューする

お金で全てを
買われる

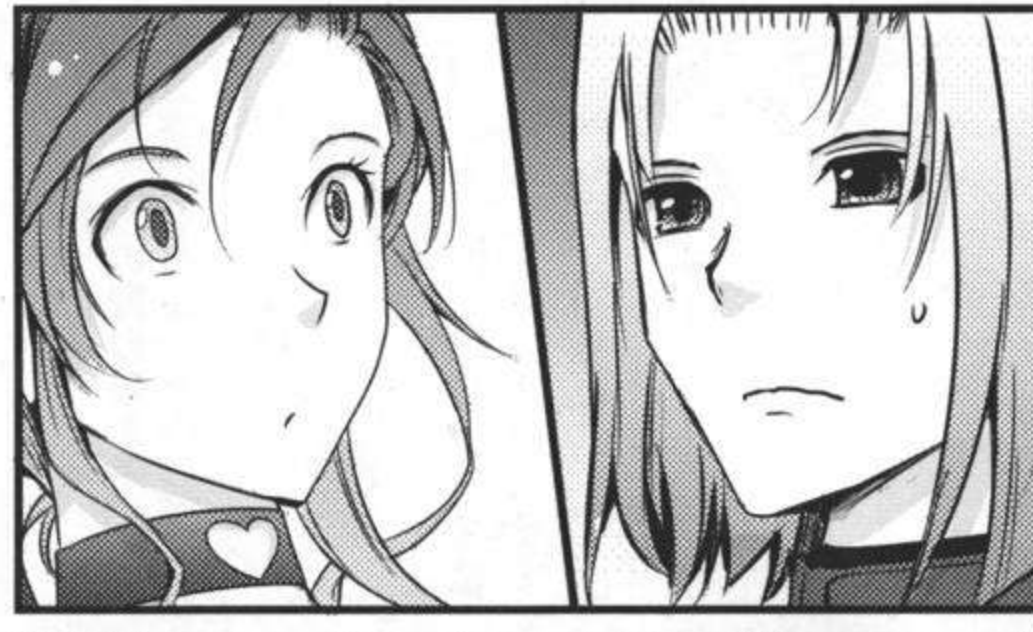
初めて勇者様以外の
チンポに服従する



なのに
なぜだろう

乱交売春なんて
初めてなのに

どなか懐かしい
感覚



頑張ってください
僕はここですと
見守ってますから

やだ
可愛い♪

もう あなたが
緊張してどうするのよ



まあ
仕方ないか♪

自分が一から育てた
娼婦を売り出すのは
初めてなものね

大丈夫♥
立派にやっ
みせるから

あなたのチンポと
私の本性を信じなさい♪

みなさま
お待たせ
しました



はじめまして♡
新人エロフタ淫毛
便女のマルチイナと
申します

勇者さまにクソ穴の
奥までチンポ中毒に
していただきました♡

むわ♡
むわ♡

むわ♡

見て♡
見て♡



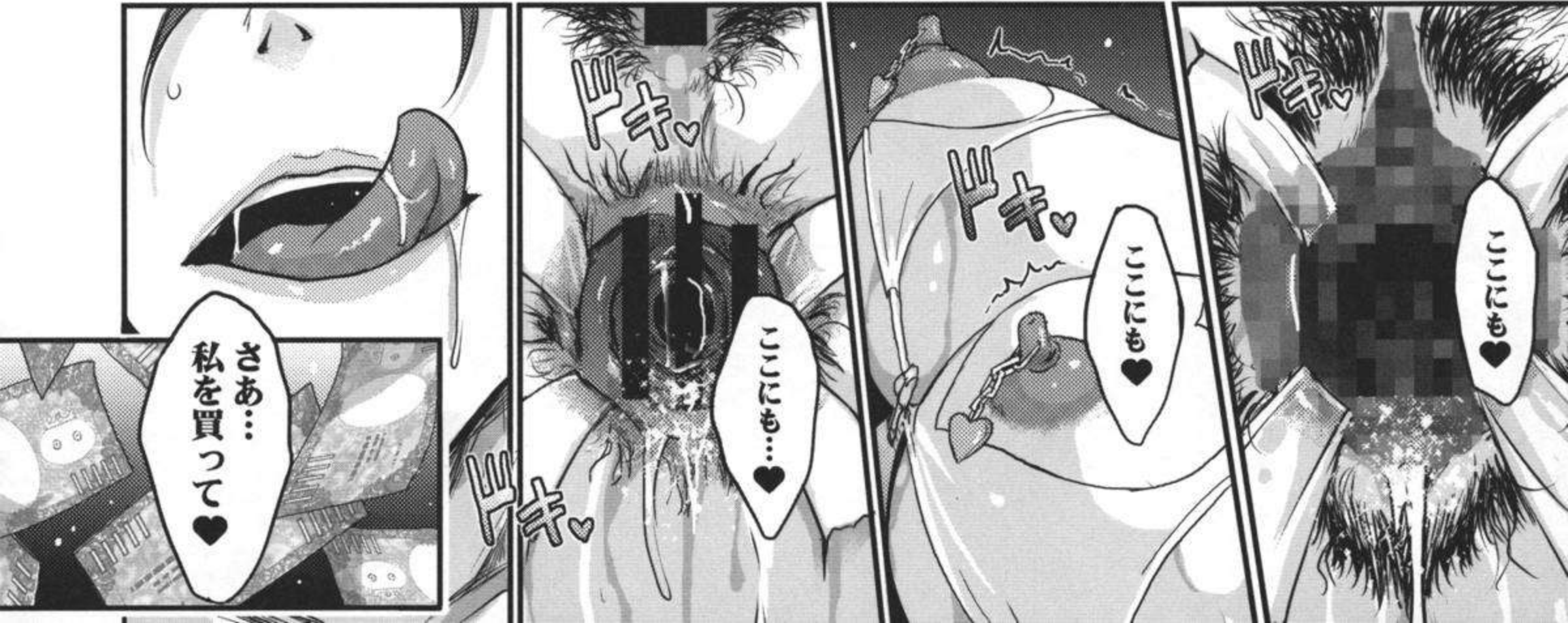
でも三日前から
チンポおあずけされて
子宮が狂いそうなの♡

どなたでも結構です
キンタマに溜めこんだ
くっさい孕ませチンポ汁
ナマ射精して
ください♡

は♡
は♡

キキ♡
キキ♡

は♡
は♡



さあ…
私を買って♡

は♡
は♡

は♡
は♡

は♡
は♡

は♡
は♡

は♡
は♡

は♡
は♡



はじめましてだと？
俺はアンタがガキの
頃から知ってるぜ
こんなクソビッチに
なりやがって…あの時
犯しとけばよかったぜ！

ご…ごめんなさいっ♡
あの頃はチンポへの礼儀も
知らない生意気なクソガキ
でしたっ！

お詫びに便所マンコで
ご奉仕いたしますっ♡
お願いですからマンコで
謝罪させてくださいっ♡



ああ…許して下さいっ♡
私…二度とチンポに勝てない
負け犬マンコになりましたっ♡

ああ…クソ穴イかせてっ♡
チンポ様には二度と逆らひ
ませんからあ…っ！



武闘会で何回フチのめ
されたか…
ヒビツ テメエのクソ穴を
犯せる日が来るとはなあ！



なあ 勇者よりもオレの
チンポのほうがいいだろ？
家畜になればフタ小屋で
一生飼ってやるよ

ほ…ホントですか？
な…なりますっ♡
勇者なんか捨てて
あなたのチンポ
家畜になりますうっ♡

オスフタと毎日交尾
させてくださいっ♡



んちゅ♡んちゅ…
んぶう…♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

んほ♡
おほ♡

おひつ♡おおおつ
んほおおおつ♡

らん♡
らん♡

イク♡
イク♡

ああ…♡
見て…♡見て…♡
ウンコ見てええっ!

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

お金次第でどんな
ことも出来る…
どんな

彼と出会わなければ
こんな幸福を一切知る
ことが出来なかつた
なんて…

そんな世界
考えただけでも
恐ろしい



勇者さまは私を
見てくれている

姿は見えなくとも
その存在を子宮で感じる

だから私も彼に
声を届けなきゃ

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡



あ♡
は♡

あは…お買い上げ
ありがとうございます…
ございますう…♡

は♡



ん…

あ…あれ…？

私 いつの間にか意識を…



気付いたときには客はもうおらず

周囲には精液と汚物とお金が散乱していた

そして 勇者さまに犯されていた

荒い息づかいで必死に腰を動かして溜めこんだ精液を夢中になって注ぎ込んでいる



なによ あんなに無慈悲で余裕見せてご主人様っぽく振舞ってたくせに

案外 必死になってカッコつけてたわけ？

やっほい可愛い…

そんな声出されたらますます娼婦…やめられないじゃない…



あれ？ これって…あの日と似てる…



く…イクっ！マルティナさん…っ！



—夢。

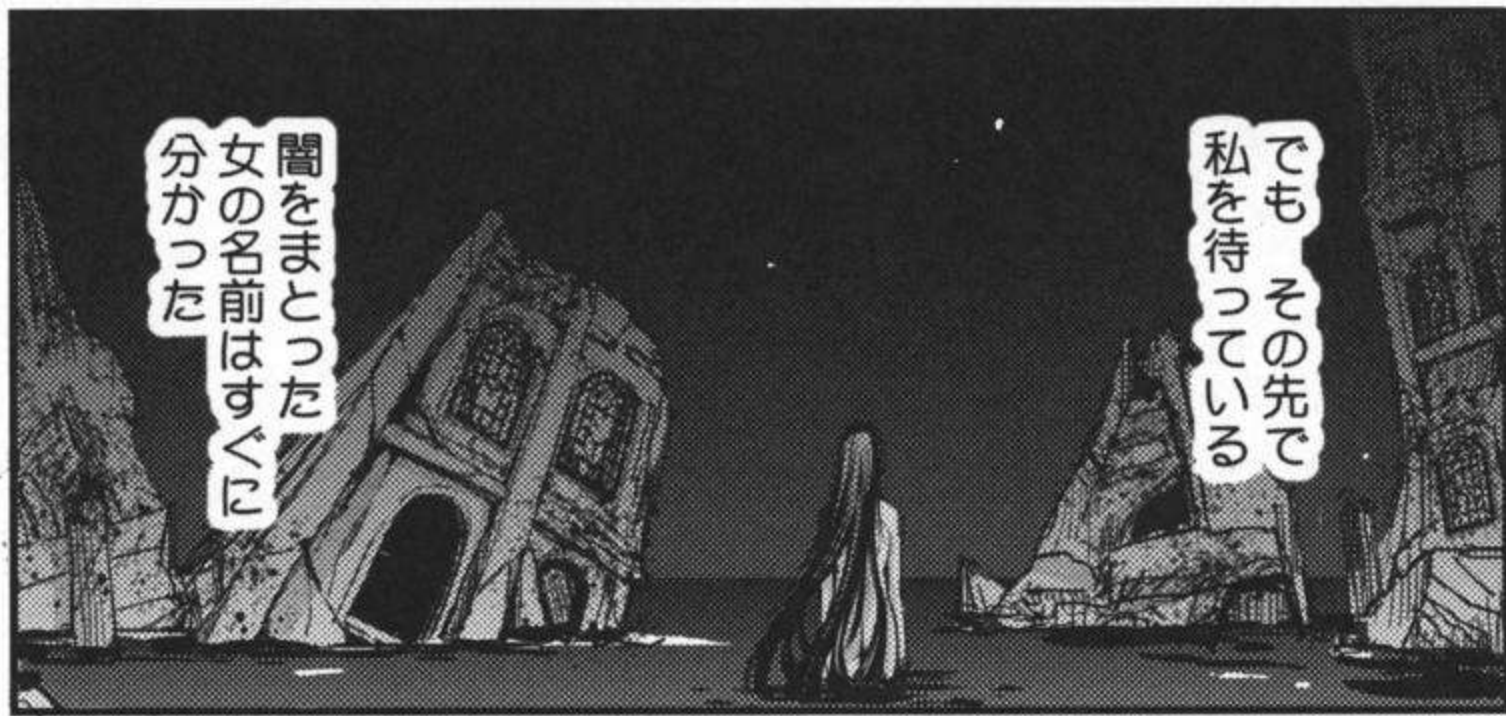
ハシヤ...

どす黒い水の中を
私は歩いてた

ここがどこかは
分からない



ハシヤ...



でも その先で
私を待っている

闇をまとった
女の名前はすぐに
分かった



ここに来たとい
うことは

無事 あなたは
勇者さまのモノに
なったわけね

いや—
逆かしら?

ふふ まあいいわ
同じことだし...

とりあえず—



おめでとう

過去の私
マルティナ

—なんて素直に
祝福するわけないのは
分かってるわよね?

彼女は 私が憧れ
尊敬した未来の私

そうよ 勇者様を
過去に送り出した
張本人！

そして誰よりも
バカな女！

愛する人にカッコ
つけて別れの背中を
押すなんて…
本心なわけ
ないじゃない！

アンタは分かっている
でしょう？

そうよ
私は『ワタシ』に
嫉妬してる！

死ぬほど
後悔してる！

本心に気づかず
私を捨てた彼が憎い！

一人残された世界
なんか滅べばいい！

いつそ過去に戻って
フギー様のメス奴隷として
魔物になりたいくらいよ！

そして焼け死にそうな
自己嫌悪に苛まれ
ながら私は死ぬ！

過去のアンタに
上書きされて
跡形もなく殺される！

アハハハ！
おめでとう！

やはり
そうだった

彼から話を聞いたときの
かすかな違和感――

私がそんなに諦めのいい
女じゃないことは自分が
一番よく知っている

でもそんな
無様な自分を
愛してる

——でしょ？

あなたは彼が
愛した女だもの



かつて闇は全て消し去る
べきと信じていた

でも今は違う

この醜く腐った心を
魅力的に思う

哀れみでも
偽善でもない

『カツコつけてる』
わけでもない

これは私に必要なの
だからあなたが消え
去る直前にこうして
出会えたのだと思う

だから絶対に
手放さない

闇がないなんて
自分じゃない

いや
人間じゃない

それこそ
バケモノよ

勇者の中にも
魔性は潜み

彼の闇の中にも
純粹さがあった

それらに感じた
愛しさこそが
無垢と背徳の快樂

じゃあもし
あれがなかったら？

——ああ

。。。。。。
ぞっとする

だから私は
あなたを放せない



いくら私が消える寸前
だからって…舐めるん
じゃないわよ！
そんな綺麗事言っても
アンタに取り込まれる
なんて絶対に

ええ 仲良く一体に
なるなんて無理

だから



私

あなたを買っわ



は……っ



私は姫様だもの

それは…
断れないわね…

そっ…か…

はは…
あはは…っ



勇者さまだけ
じゃなくて私まで…

どこまで
強欲なのよアンタ

なぜ
そこまでして…



簡単なことよ

あなたが言った通り
私が捨てられた時に

勇者さまをぶち殺して
世界をぶっ壊してやる
ためよ。

——ホント
サイテーね

これからも
よろしくね♥

そして
彼女は消えた

私たちの時間ときは
失われることなく

今ひとつの

とき
人生になった

千千千...

おはよう
勇者様

大丈夫？

あなたったら
あの後 そのまま
寝ちゃったのよ

ただいま

——それとも

おかえりなさい
かしらね

勇者さま

あなた





あら 私は初めて
だと思っけど?

……もう一度
プロポーズして
いいですか



——
なんてね

よろこんで
お受けします



幸せなことは何度でも

もらえるものは何でも

愛する人は何人でも

男も女も

光も闇も

過去も未来も

愛情

嫉妬

絶望

希望

全部買うわ
私どこまでも
欲深い女だから



未来の勇者たちのために
この身を捧げ
姫姫としての使命を
果たすために――

これからも
よろしくね♥

■あしがき

前作で描けなかったベロニカを描けて嬉しかったですw
彼女はDQ11の圧倒的ヒロインですからねー。あの体型なので
エロシーンは描けません。

過去に戻るといふ設定は前作のプロット段階で考えていたの
ですが、ボリュームの問題でカットしてました。実際、2作目と
して描いてみると45ページ…。キツイ作業でした。でも、正直
まだ描き足りない気分です。マルティナは本当にエロいので。

ストーリーは今回で完結ですが、なんらかの機会に外伝的な
お話も描けたらいいな、と思ってます。DQ11、未プレイの方は
ぜひぜひ遊んでみてください。



フタナリ化した幼馴染エマさんの
ラフ。会場限定オマケ本の表紙です。
フタナリ化させたのは魔族の呪いでは
なく、実は勇者なのでした。

奥付

発行：我流痴帯
著者：TANA
2018/12/31発行

e-mail: garyuh@tana00.sakura.ne.jp
URL: <http://tana00.sakura.ne.jp>
印刷：しまや出版

未成年者の閲覧・購読を禁じます

WEBへのアップロードを
禁じます